

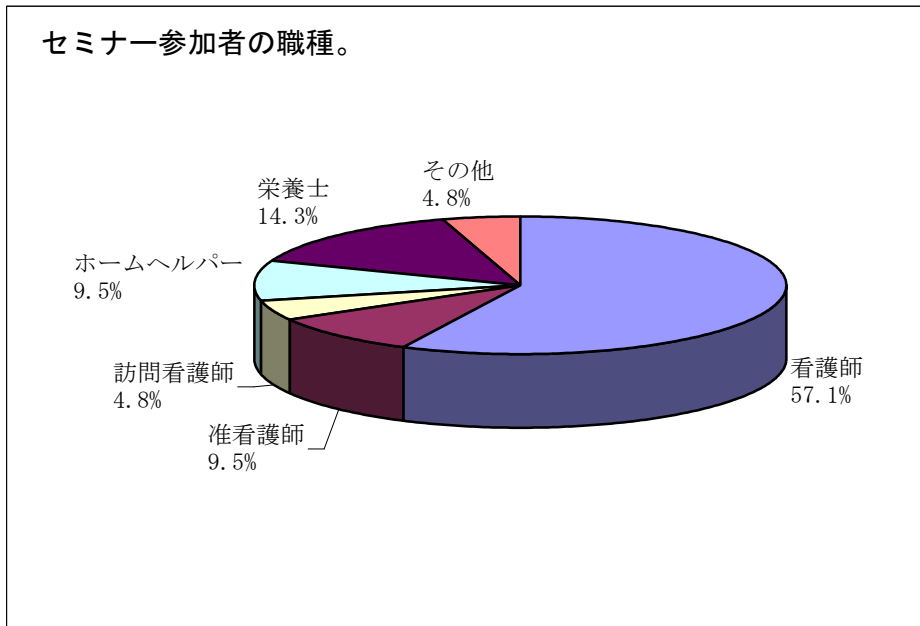
第4回群馬PDNセミナー(平成18年8月)

アンケート集計結果

回収サンプル数:21

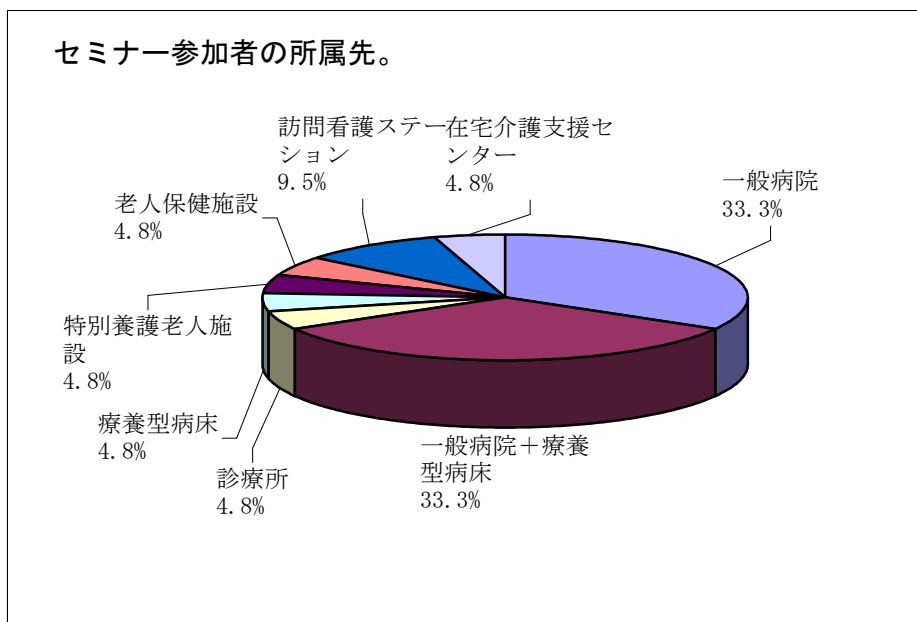
I. セミナー参加者のプロフィール。

□ 職種



N=21

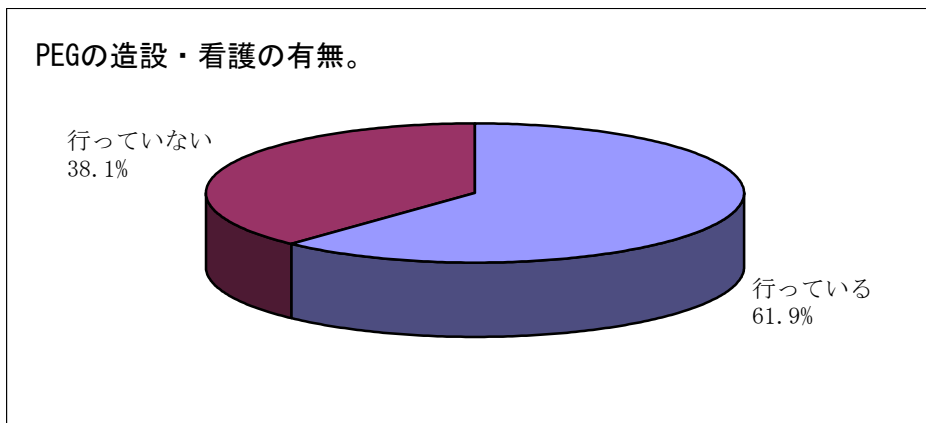
□ 所属先



N=21

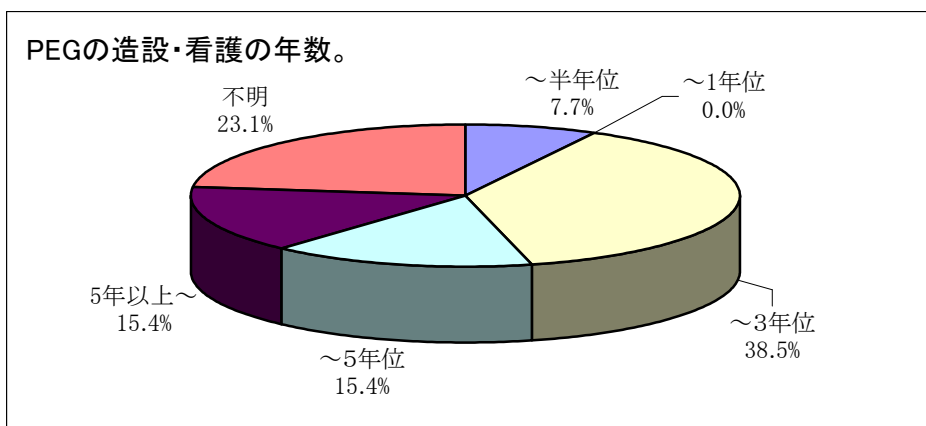
Ⅱ. セミナー参加者のPEGとの関わり。

□ PEGの造設・看護の有無。



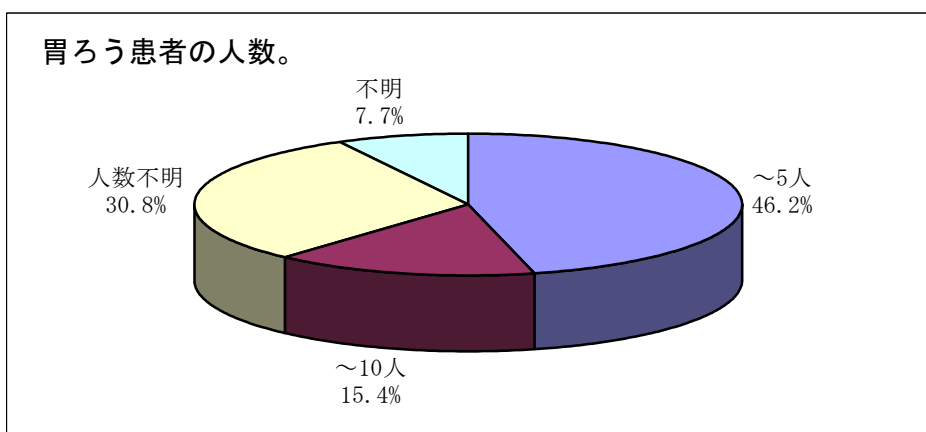
N=21

□ PEGの造設・看護の年数。



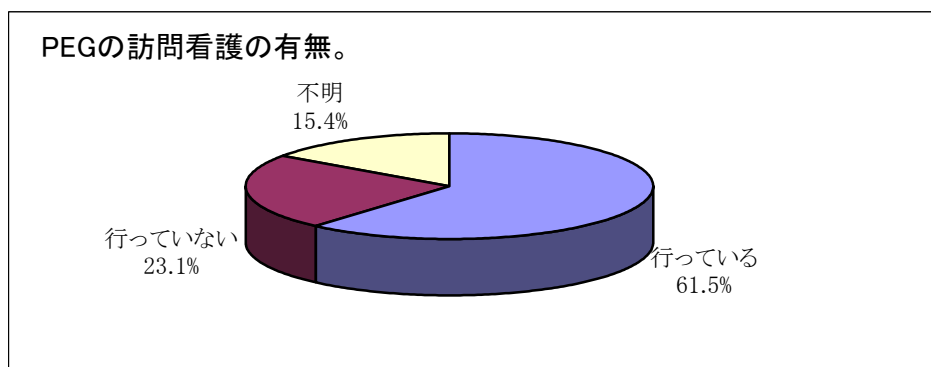
N=13

□ 胃ろう患者の人数。



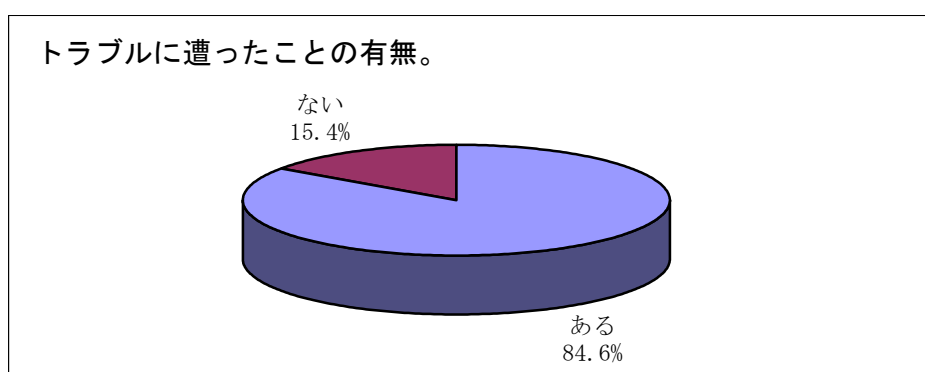
平均: 3.8人 N=13

□ PEGの訪問看護の有無。



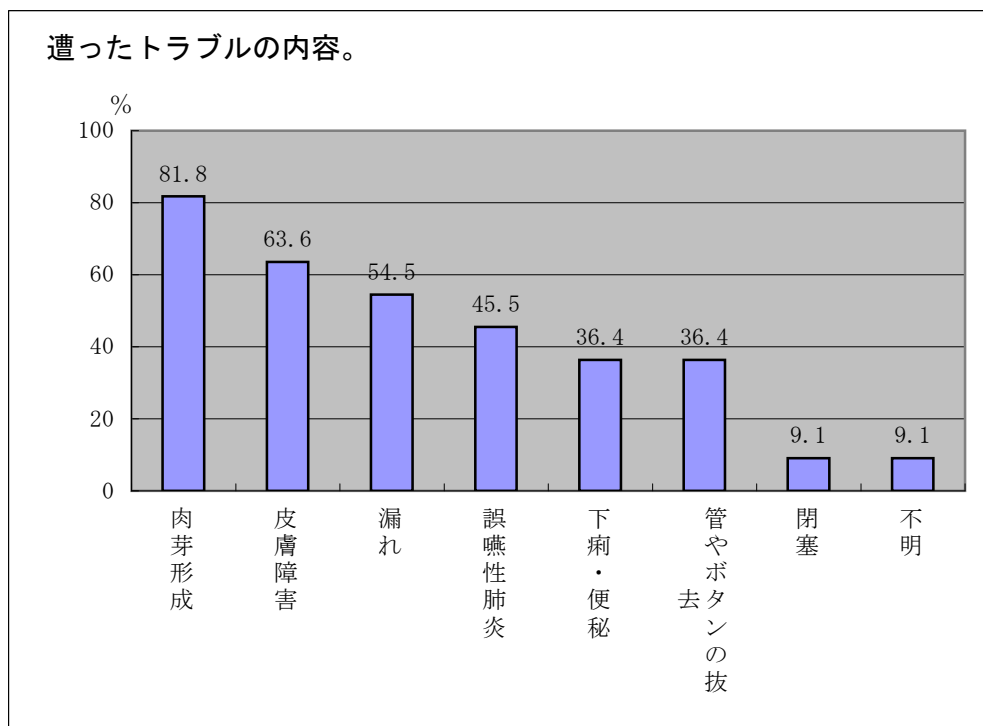
N=13

□ PEG看護でトラブルに遭ったことの有無。



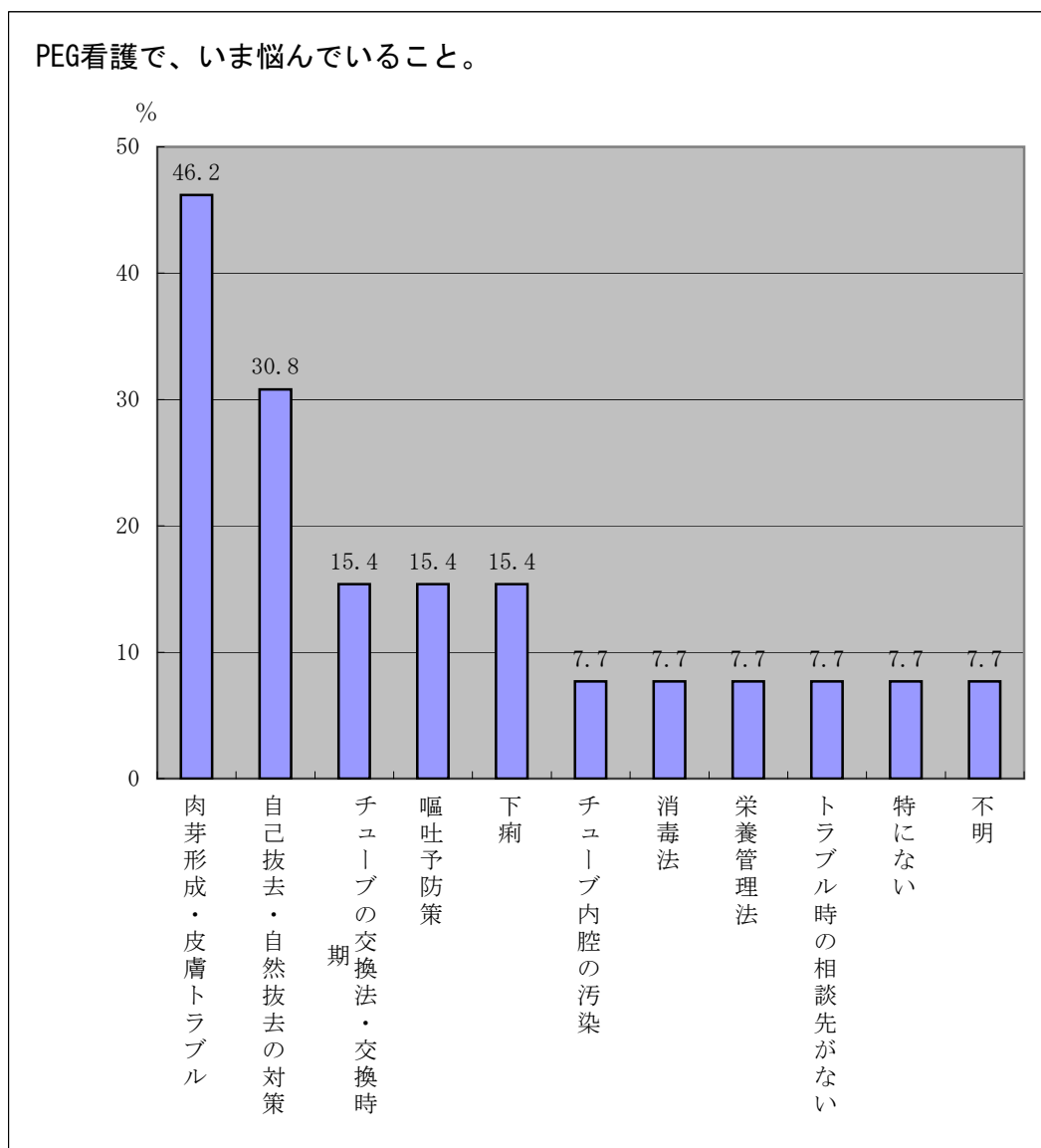
N=13

□ 遭ったトラブルの内容。(複数回答)



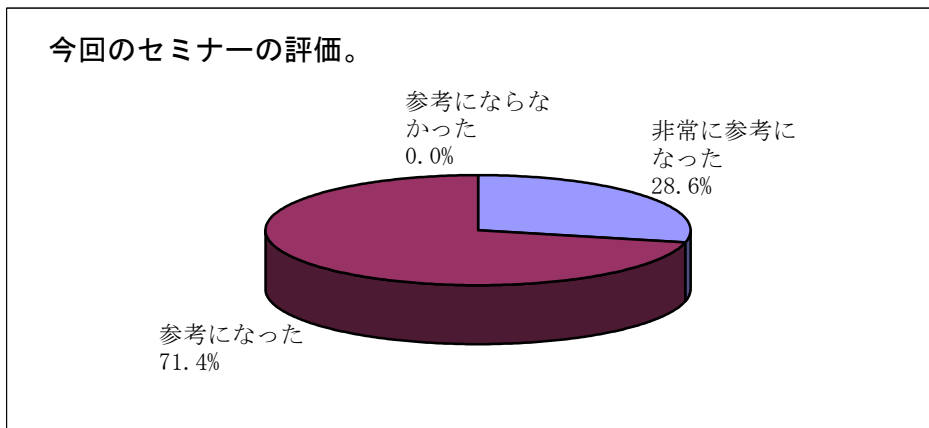
N=11

□ PEG看護で、いま悩んでいること。(複数回答)



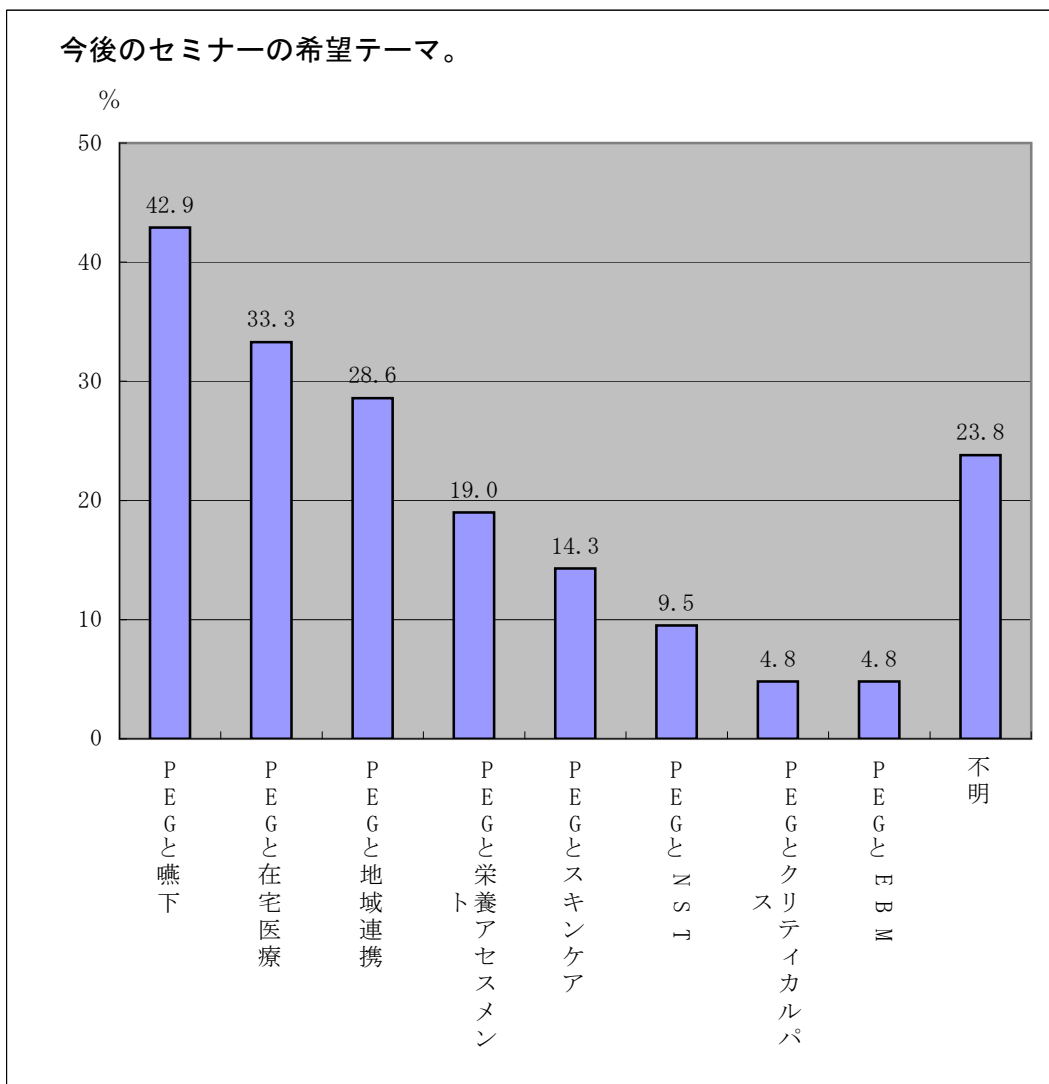
Ⅲ. セミナーの評価と希望。

□ 今回のセミナーの評価。



N=21

□ 今後のセミナーの希望テーマ。



N=21

IV. 自由回答意見。

問. PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか？どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をおきかせください。

- PEGにすると、「これでは自宅で介護できない」と施設利用を選ぶ家族が多いのも事実です。また、施設のほうではPEGの患者が増えて、受入数に上限を設けるところも出てきている。PEGであっても在宅で介護できるという情報や知識を家族に与えて安心感をつくる必要があります。また、医療機関のスタッフはそういうことを指導できるようになる意識改革が必要ではなからうか。(ソーシャルワーカー、一般病院＋療養型病床)
- 老人がこんなに多くなっている社会は本当に良いことであろうか。どの老人ホームも超一杯で、いつまで待ったら入所できるかまったく予想がつかない。食べられない老人はどんどん増え、PEGもどんどん増える。スキンケアも在宅も栄養管理も、地域連携がますます必要になってくる。10年前には考えられなかったことである。(看護師、一般病院)
- 患者さんに理解してもらうことが最も必要であるが、高齢ということもあってそれが難しく、ご家族の方に理解してもらい協力してもらうことが必要。看護職もカテーテルの種類を知るなどいろいろと勉強していかなければならない。(看護師、診療所)
- コメディカルとの連携がうまく行われなければならない。(看護師、一般病院＋療養型病床)
- きょうのセミナーで多くのことを勉強できた。毎日の介護の中で活かしていきたい。(ホームヘルパー、在宅介護支援センター)

回収サンプル数:21

Q1.あなたは、現在、PEGの造設、看護を行っていますか？

1. 行っている(61.9%) 2. 行っていない(38.1%)



└→Q8へ

(N=13)

Q2.PEGの造設、看護を行うようになってから何年になりますか？

1. ~半年位(7.7%) 2. ~1年位(0.0%) 3. ~3年位(38.5%) 4. ~5年位(15.4%)
5. 5年以上~(15.4%) 不明(23.1%)

Q3.現在、胃ろうを入れられた患者様は御施設に何人いらっしゃいますか？

1. ~5人(46.2%) 2. ~10人(15.4%) 3. ~20人(0.0%) 4. ~30人(0.0%)
5. 31人~(0.0%) 6. 患者様はいるが人数は不明(30.8%) 不明(7.7%) 平均:3.8人

Q4.御施設ではPEGの訪問看護を行っていますか？

1. 行っている(61.5%) 2. 行っていない(23.1%) 不明(15.4%)

Q5.看護の中で、トラブルにあったことがありますか？

1. ある(84.6%) 2. ない(15.4%)



(N=11)

Q6.どんなトラブルでしたか？(複数回答)

1. 肉芽形成(81.8%) 2. 皮膚障害(63.6%) 3. 誤嚥性肺炎(45.5%)
4. 漏れ(54.5%) 5. 閉塞(9.1%) 6. 下痢・便秘(36.4%) 7. 管やボタンの
抜去(36.4%) 8. その他(0.0%) 不明(9.1%)

Q7.看護の中で、いま悩んでいるものはどれですか？(複数回答)

1. 自己抜去・自然抜去の対策(30.8%) 2. チューブの交換法・交換時期(15.4%) 3. チューブ内腔の
汚染(7.7%) 4. 消毒法(7.7%) 5. 肉芽形成・皮膚トラブル(46.2%) 6. 嘔吐予防策(15.4%) 7.
栄養管理法(7.7%) 8. 下痢(15.4%) 9. トラブル時の相談先がない(7.7%) 10. その他(0.0%)
11. 特にない(7.7%) 不明(7.7%)

Q8.きょうのセミナーは参考になりましたか？

1. 非常に参考になった(28.6%) 2. 参考になった(71.4%) 3. 参考にならなかった(0.0%)

Q9.今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？

1. PEGと嚥下(42.9%) 2. PEGと栄養アセスメント(19.0%) 3. PEGとスキンケア(14.3%) 4.
PEGと在宅医療(33.3%) 5. PEGとNST(9.5%) 6. PEGとクリティカルパス(4.8%) 7. PEGと地
域連携(28.6%) 8. PEGとEBM(4.8%) 9. その他(0.0%) 不明(23.8%)

Q10.あなたは次のどれにあたります？

1. 看護師(57.1%) 2. 准看護師(9.5%) 3. 訪問看護師(4.8%) 4. 介護福祉士(0.0%) 5. 作業
療法士(0.0%) 6. ケアマネジャー(0.0%) 7. ホームヘルパー(9.5%) 8. 薬剤師(0.0%) 9. 栄
養士(14.3%) 10. 医師(0.0%) 11. その他(4.8%)

Q11.あなたの所属先は？

1. 一般病院(33.3%) 2. 一般病院+療養型病床(33.3%) 3. 診療所(4.8%) 4. 療養型病床
(4.8%) 5. 特別養護老人施設(4.8%) 6. 老人保健施設(4.8%) 7. 訪問看護ステーション(9.5%)
8. 在宅介護支援センター(4.8%) 9. 居宅介護支援事業所(0.0%) 不明(0.0%)

Q12.PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか？どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をおきかせください。